

第68回 俳句を楽しむ会 「かわせみ会」 会報

- 1 開催日 2024年 2月22日 13:00～ 第4木曜日
大阪工場内 ゆうゆう会館ニテ
- 2 参加人数 ・男性6名・女性2名・投句1名 計 9名
- 3 今回の季語 二月(如月)の季語全般 (季語重なりがないこと!)
- 4 選句の結果 *写真をみて一句! を試行してみる。



鈴鹿の枝垂れ梅

- ・日向ぼこ老婆は猫に介護され
- ・窓開けてそっと小声で鬼は外
- ・風吹かば花びら舞いて梅香立つ
- ・人影のゆっくり動く梅見かな
- * 風向きにヨシ原焼きの灰が舞う
- * ヨシ原に煙たなびき春近し
- ・蠟梅や庭木さきがけぼつり咲く
- ・梅の花しゃがみて仰ぐ蒼空に映え
- ・主夫三日目フライパン出し寒し宵
- ・紅白の梅の香あびて散歩道
- ・剪定の脚立つ裾に枝の嵩
- ・ぬっと出て見よとばかりに春の月
- ・歩幅より歩ける感謝春うらら
- * 野焼きの丘黒から緑命継ぐ
- * 風変り野火の匂いの付いてくる
- * 野火走り煙たちまち天空へ
- * 琵琶の茅野焼きの後や湖開く

*写真で一句!
兼題: 野焼き 〈若草山〉



5 講評・添削 披講: 東さん

1) 語彙・表現良い句、見直すことでより良い表現へ

- ・春疾手みぞは吹きだめゴミの山
↳ ”風”での表現がよいのでは!
- ・三寒の風の残りにて四温晴れ
”三寒四温”=季語 なのですが、句の内容が寒さが強調されすぎ
- ・いにしへの都の丘の野焼きかな

2) 季語色々

- ・春曉に心はずみて足のばす
↳ 朝やけ
- ・剪定の脚立つ裾に枝の嵩
↳
- ・蠟梅や庭木さきがけぼつり咲く
↳ 梅の花で一番早く咲く
- ・三回忌の日取り知らせる二月尽
↳ 2月の終わりごろを意味する
- ・古庭やいろいろ草木いろいろ芽

選外句

- ・春疾風みぞは吹きだめゴミの山
- ・春曉に心はずみて足のばす
- ・古庭やいろいろ草木いろいろ芽
- ・紅梅や神への思い咲きほこる
- ・三回忌の日取り知らせる二月尽
- ・三寒の風の残りにて四温晴れ
- ・術後にも会わせぬコロナ気は寒し
- * 奈良山の一面野焼き白・黒
- * 今眼下せまる火勢や秋吉台
- * いにしへの都の丘の野焼きかな

6 次回(#67)開催日 2023年 3月28日 13:00～(15:00) 第4木曜日

兼題: 三月(弥生)の季語全般

写真で一句 :花の雨

歳時記を参考に!

大阪工場内 ゆうゆう会館ニテ

注1) 季語の無い句や季語重なりがないこと!

注2) ”五七五”の17音(文字)を満足すること!